



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と  
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と  
ひ  
ツムぐ学生

第11号

2017年4月27日

編集 梅田順子  
(SP大学4年)

2017年4月27日(木)

## ようこそ、かたはへ！山内理代SP初日！！

今日は、小島SP、理代SP、利央SP、私の4人で活動しました。



理代SPは、愛知淑徳大学の3年生。小島SPの部活の後輩で、小島SPの誘いを受け、片葩小学校のWSPに加わってくれることになったということです。

今日、小島SPは、1時間目の新しいWSPに校内見学や活動紹介の“ガイド”をするために、わざわざ片葩小学校に来てくれました。部活で知っている先輩がガイドをしてくれて、理代SPも心強かったことでしょう。また、理代SPと利央SPと私の3人で話している時も、

これからのWSPの活動を楽しみにしていて、大きな興味を持っている様子でした。これから、木曜日に活動するという事なので、楽しみです！



早速、給食の時間には3の3に入ってもらいました。入った初日ですが、しっかりと子どもたちとコミュニケーションを取っていました。また、「いただきます」の挨拶をする時になると、きちんと切り替えて、挨拶をするように子どもたち側に回って、支援していました。「切り替えて支援する」良い動きだと思います。私も、今何をすべき時なのかを考えて、支援していきたいと思います。

1・5時間目、利央SPと私は、“保”という時間でした。今日は家庭訪問があり40分授業でしたが、保護者対応の“保”ではありません。保健室で養護の先生のお手伝いをして、健康診断の記録をする仕事です。量がとても多く、集中力のいる仕事でした。教員になってからやることはないであろう“貴重”な体験をすることができました。